

ご 案 内

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
当センターの研修につきまして下記のとおりご案内申し上げますので、受講者の
派遣方につきまして格別のご高配を賜りたくお願い申し上げます。

平成 30 年度研修

地 質 調 査

— 地盤に関わる諸問題解決の知識と留意点ついて —

共 催 一般財団法人 全国建設研修センター
一般社団法人 全国地質調査業協会連合会
後 援 国 土 交 通 省
全国知事会・全国市長会・全国町村会

地質調査は社会資本整備における施工や維持管理に大きな影響を持つ重要な業務です。

この地質調査を効果的に実施するためには、地質技術者の十分な技術力が必要なのはもちろんのこと、発注者においても地質調査成果の設計や施工への活用方法を十分に理解しておくことが必要です。

本研修では、地質調査の手法や解析、評価手法のほか、調査計画や積算手法などについて、専門家の講義により最新の知識、技術を修得することを目的としています。

特に、「地質リスクマネジメント」の講義では、地質にかかわる事業リスクについて事例を交えて解説するほか、「地質調査発注のポイント」の講義では、積算手法の解説をはじめ、業者選定や資格制度の活用など業務発注の段階で参考となる内容を紹介します。

毎年、この研修には調査職員や地質技術者の方々など全国から多数の方にご参加いただいております。相互交流、情報交換の貴重な機会として好評を得ています。

皆様のご参加をお待ちしております。

【受講された方々の声】

- ・調査する前に既存資料等で想定して、それを地盤調査によって検証するという意識・姿勢が大切だと言われ、一番勉強になったと思う。地質調査全般の内容が網羅されていたと思う。
- ・違う会社、違う年代の人々と話し合う機会があり、2日半という短い期間でしたが、充実した内容でした。
- ・地質調査の重要性を再確認することができたため、とても勉強になった。

【期間】 平成 30 年 5 月 16 日(水) ～5 月 18 日(金) 3日間

【場所】 一般財団法人 全国建設研修センター 研修会館

〒187-8540 東京都小平市喜平町 2-1-2

TEL 042-324-5315 <http://www.jctc.jp/>

当センターホームページよりインターネットで研修の申込みができます。

(一社) 全国地質調査業協会連合会の実施する「地質調査技士資格検定試験(現場技術・管理部門)」の受講加点(4点)の対象研修です。

(一社) 全国土木施工管理技士会連合会の継続教育(CPDS)認定プログラム(昨年度ユニット数 20)

(一社) 建設コンサルタンツ協会の継続教育(CPD)認定プログラム(昨年単位数 19.33)

※受講経費の助成制度がある道県(政令市を除いた市町村職員の受講が対象となります。)

北海道・青森・岩手・栃木・群馬・神奈川・新潟・富山・山梨・岐阜・静岡・奈良・和歌山・岡山・山口・徳島・高知・熊本・大分・宮崎の20道県
詳細は、各道県市町村振興協会・こうち人づくり広域連合にお問い合わせください。

平成 30 年度研修 「地質調査」 実施要領

―地盤に関わる諸問題解決の知識と留意点について―

1. 目的 地盤、地下水、基礎構造物などの検討に必要な地質調査に係わる計画、調査手法において、防災、リスク管理の視点を採り入れながら、建設事業のトータルコストを下げる地質調査についての最新の知識、技術を短期間で体系的に修得する。
また、共同生活による相互啓発、相互交流、情報交換を通じて職場における業務の推進に資するものとする。
2. 対象職員 国、地方公共団体、独立行政法人等及び民間企業等において建設事業に携わる者
3. 募集人数 40 名
4. 研修期間 平成 30 年 5 月 16 日（水）～5 月 18 日（金） 3 日間
全寮制（通学も可能です。）
5. 集合日時 5 月 16 日（水）、8 時 45 分までに、研修会館に集合してください。
※前日宿泊を希望される方は、21 時までに入館してください。

6. 教科目、講師及び研修場所（次頁以降参照）

全教科目のテキストは CD(PDF)で配付し、講義は各自一台のパソコンを見ながら受講していただきますので、ノート類を準備してください。

7. 申込先及び問い合わせ先

一般財団法人 全国建設研修センター 研修局 担当：荷出・菊地

〒187-8540 東京都小平市喜平町 2-1-2

※申込みはインターネット、郵送、FAX、メールいずれでも受け付けています。

ホームページアドレス <http://www.jctc.jp/>

メールで申込みをする場合は、申込書フォームをメールでご請求ください。

TEL 042-324-5315 FAX 042-322-5296 メールアドレス：uketuke@jctc.jp

※全国地質調査業協会連合会の会員の方も全国建設研修センターに直接申込みしてください。

8. 研修経費及び納入先

(1) 研修経費（1 人当たり、消費税含）

① 研修会費：69,000 円

② 宿泊費：5,800 円（2 泊分）※前日宿泊の場合、1 泊分（2,900 円）追加となります。

③ 合計：74,800 円

(2) 研修経費納入先（4 月 1 日以降三菱 UFJ 銀行名に変更）

三菱東京UFJ銀行 新宿支店 普通預金 No.0000316

（サイ）ゼンコクケンセツケンシュウセンター

一般財団法人 全国建設研修センター

リジチョウ アサノマ カズ オ

理事長 浅野間 一 夫

受講通知書到着後にお振り込みください。

振込手数料はご負担ください。

なお、お振込みの際には「振込依頼人名」等の頭に、受講通知書等に記載されている「申込番号」を入力ください。

また、経費別の納入及び当日持参も可能です。

（参 考）食費は、研修会館内の食堂（土・日・祝日は休み）で定食をとられた場合、朝 420 円、昼 470 円となります。支払いは直接食堂へお願いします。なお、夕食は現在休止しております。

9. 申込締切日 平成 30 年 5 月 9 日（水）

10. そ の 他

- (1) ご持参いただくもの（筆記用具、共済組合員証又は健康保険証、洗面用具、タオル類、着替え、雨具等）
- (2) 宿泊施設は 2～6 人部屋となっています。
- (3) 研修会館に備わっているもの（浴衣、スリッパ、洗濯機、乾燥機、洗濯洗剤、石鹸、シャンプー、ドライヤー）
- (4) 研修受講中の服装及び履物は、研修にふさわしい常識的なものを着用してください。
- (5) 駐車場はありませんので、自家用車でのご来場はご遠慮ください。

平成30年度研修「地質調査」時間割

—地盤に関わる諸問題解決の知識と留意点について—

月 日	時 間	講義 時間	教 科 目	講 師	
				所 属	氏 名
5/16 (水)	8:30～ 8:45 8:45～ 9:30		受 付 開講の挨拶・オリエンテーション		
	9:30～12:00	2.5	日本の地質概況と地盤に 関わる諸問題解決のポイント —グループ討議を含む—	株式会社 地域環境研究所 技師長	中 村 裕 昭
	13:00～16:50	4.0		日本大学 文理学部 地球科学科 非常勤講師	
	17:00～18:00	1.0	地質調査発注のポイント	応用地質株式会社 サービス開発本部 マネージャー 一般社団法人 全国地質調査業協会連合会 積算委員会 委員	児 玉 貴 司
5/17 (木)	9:00～12:00	3.0	地質調査の必要性と方法	一般社団法人 全国地質調査業協会連合会 技術ワーキング委員	松 浦 一 樹
	13:00～15:30	2.5	地質調査の計画 —グループ演習を含む—	明治コンサルタント株式会社 技術本部 技術部 副部長	渡 辺 信 一
	15:40～17:10	1.5	地質調査を活用した技術 —構造物の維持管理に 必要な地質調査など—		
5/18 (金)	9:00～12:00	3.0	地質リスクマネジメント —地質の不確実性を 理解しコスト縮減へ—	基礎地盤コンサルタンツ株式会社 東北支社 執行役員支社長	仲 井 勇 夫
	13:00～15:00	2.0	地質リスクの 発現事例・原因・対応のあり方	国立研究開発法人 土木研究所 地質研究監	佐々木 靖 人
	15:00～15:10		閉講式		

※教科目及び講師については変更することがあります。

合計 19.5h

平成 30 年度研修 「地質調査」 申込書

(一社)全国地質調査業協会連合会 ☐ 全地連会員
(一財)全国建設研修センター ☐ 非会員

どちらかに☑チェックを入れてください。

F101

ふりがな				年 令 ・ 性 別
氏 名				満 才 ☐ 男 ☐ 女
最 終 学 歴	☐ 大学院 ☐ 大 学 ☐ 短大 ☐ 高専 ☐ 専門学校 ☐ 高 校 ☐ その他 科卒業/修了			
当研修に関する経験年数	年	ヶ月	役 職 名	☐ 事務 ☐ 技術
勤 務 先	(勤務先名)			
	部 課 Tel			
	E-mail @			
勤 務 先 種 別	☐ 国、地方公共団体 ☐ 独立行政法人等 ☐ 技術センター、財団、社团 ☐ 建設業者 ☐ コンサルタント ☐ その他			
勤 務 先 所 在 地	〒 -			
研 修 経 費 納 入 方 法	研 修 会 費	☐ 振 込 ☐ 持 参	宿 泊 費	☐ 振 込 ☐ 持 参
前日宿泊 (5 月 15 日)	希望する	希望しない	☐ 通 学	

◎ 前日宿泊の希望は、(希望する 希望しない) のいずれかを○で囲んでください。

※ 申込書に記入された氏名、年齢等の個人情報、研修を円滑に実施するためのものです。

申込書の記載事項は、研修の事務連絡及び実施に必要な書類等の作成以外の目的では利用いたしません。

<地質調査研修>

受講者派遣機関名

〒 - Tel

所 在 地

派遣事務担当者

所 属 ・ 氏 名

キ リ ト リ セ ン

< 研 修 場 所 >

一般財団法人 全国建設研修センター

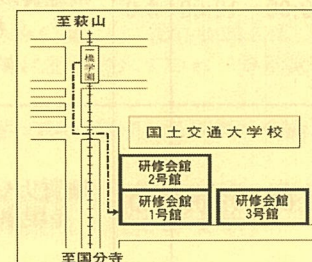
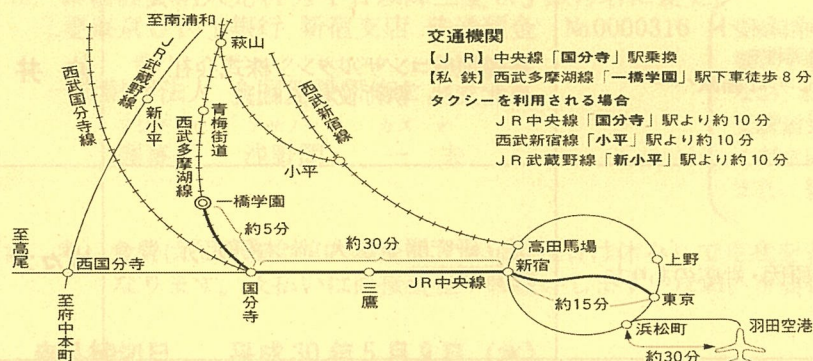
研 修 会 館

※ 1号館にお越しください。

〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2

TEL 042 (324) 5 3 1 5 (代)

http://www.jctc.jp/



【参考】平成 30 年度、当センターが実施いたします土質・地質部門の研修は次のとおりです。

研 修 名	対象者	期間	日数	研修会費(円/人)
地質調査	一般	5/16(水)	3	69,000
やさしい土質力学の基礎	一般	6/20(水)	3	69,000
地質調査業務 計画と積算	一般	7/9(月)	2	45,000
土質設計計算	一般	9/25(火)	4	75,000

※「一般」… 行政、民間の職員を対象とした研修

研修のしおりはホームページ「受講にあたって」からご覧になれます。

平成 30 年度に実施する研修の実施計画についてはホームページで閲覧できます。ホームページアドレス <http://www.jctc.jp/>

ご 案 内

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
当センターの研修につきまして下記のとおりご案内申し上げますので、受講者の派遣方につまして格別のご高配を賜りたくお願い申し上げます。

平成 30 年度研修

舗 装 技 術

主 催 一般財団法人 全国建設研修センター
後 援 国 土 交 通 省
全国知事会・全国市長会・全国町村会
一般社団法人 日本道路建設業協会

舗装のストックは増加傾向ですが、維持・修繕費用は財政上の制約から近年減少傾向にあります。舗装の管理・更新を適切に行うには、メンテナンスサイクルを構築し、効率的にマネジメントしていくことが求められています。

また、国土交通省において平成28年10月に「舗装点検要領」が策定され、今後は、点検要領をもとに、舗装の長寿命化、ライフサイクルコスト（LCC）の削減など効率的な維持・修繕を実施していくことが提示されています。

本研修は今年度よりカリキュラムを一新し、第一線の講師陣による舗装を取り巻く最近の動向、道路舗装に関する発注者（道路管理者）の取り組み等について、事例等を交えた講義により、今後の舗装工事の実務に役立つ知識を得られる内容としています。

例年、本研修には多数の方々にご参加いただいております、全国から集まった実務担当者との相互交流、情報交換の貴重な機会として好評を得ております。

皆様のご参加をお待ちしております。

《受講された方々の声》

- ・普段、現場管理の業務を行っているが、最新の舗装技術や業界の動向等を知る機会が少ないので非常に勉強になった。
- ・舗装についての知識や経験が多いわけではなかったが、幅広い講義内容で資料も充実していたため、わかりやすかった。
- ・“道路”を軸に、建設・構造・維持管理と幅広く学ぶことができた。

【研修期間】平成30年5月9日(水)～5月11日(金) 3日間

【研修場所】一般財団法人 全国建設研修センター 研修会館

〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2

TEL 042-324-5315 <http://www.jctc.jp/>

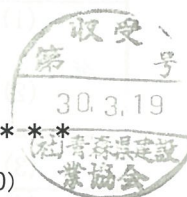
当センターホームページよりインターネットで研修の申し込みができます。

- 一般社団法人 全国土木施工管理技士会連合会の継続教育（CPDS）認定プログラム（昨年度ユニット数20）
- 一般社団法人 建設コンサルタンツ協会の継続教育（CPD）認定プログラム（平成30年度より予定）

※受講経費の助成制度がある道県（政令市を除いた市町村職員への受講が対象となります。）

北海道・青森・岩手・栃木・群馬・神奈川・新潟・富山・山梨・岐阜・静岡・奈良・和歌山・岡山・山口・徳島・高知・熊本・大分・宮崎の20道県。

詳細は、各道県市町村振興協会・こうち人づくり広域連合にお問い合わせください。



平成 30 年度研修「舗装技術」実施要領

1. 目 的 道路舗装を取り巻く最近の技術動向、発注者の取り組み、舗装点検、維持・修繕等、舗装技術に関する総合的な知識を修得する。
また、共同生活による相互啓発、相互交流、情報交換を通じて、職場における業務の推進に資するものとする。
 2. 対 象 職 員 道路建設工事等に携わる技術職員
 3. 募 集 人 数 60名
 4. 研 修 期 間 平成30年5月9日(水)～5月11日(金) 3日間
全寮制(通学も可能です。)
 5. 集 合 日 時 5月9日(水)、8時50分までに、研修会館に集合してください。
※前日宿泊を希望される方は、21時までに入館してください。
 6. 教科目、講師及び研修場所(次頁以降参照)
 7. 申込先及び問い合わせ先
一般財団法人 全国建設研修センター 研修局 研修担当：久保寺・及川
〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2
※ 申込みはインターネット、郵送、FAX、メールいずれでも受け付けています。
ホームページアドレス <http://www.jctc.jp>
メールで申込みをする場合は、申込書フォームをメールで請求してください。
TEL:042-324-5315 FAX:042-322-5296 メールアドレス:uketuke@jctc.jp
 8. 研修経費及び納入先
 - (1) 研修経費(1人当たり、消費税含)
 - ① 研修会費 69,000円
 - ② 宿 泊 費 5,800円(2泊分) ※ 前日宿泊の場合は、1泊分(2,900円)追加となります。
 - ③ 合 計 74,800円
 - (2) 研修経費納入先(4月1日以降「三菱UFJ銀行」に行名変更)
三菱東京UFJ銀行 新宿支店 普通預金 No.0000316
ザイ) センコケンセツケンシュセンター
一般財団法人 全国建設研修センター
リゾチヨ アサノマ カズオ
理事長 浅野間 一夫

受講通知書到着後にお振り込みください。
振込手数料はご負担ください。
なお、お振り込みの際には、「振込依頼人名」等の頭に、受講通知書等に記載されている「申込番号」を入力ください。
また、経費別の納入及び当日持参も可能です。
 - (参考) 食費は、研修会館内食堂(土・日・祝日は休み)で定食を取られた場合、朝420円、昼470円となります。支払いは直接食堂へお願いします。なお、夕食は、現在休止しております。
9. 申込締切日 平成30年4月23日(月)
10. そ の 他
 - (1) 持参図書「平成29年度版 舗装点検必携」(平成29年4月) ¥2,700
(公社)日本道路協会 編集・発行 TEL:03-3581-2211
 - (2) ご持参いただくもの(筆記用具、共済組合員証又は健康保険証、洗面用具、タオル類、着替え、雨具等)
 - (3) 宿泊施設は2～6人部屋となっています。
 - (4) 研修会館に備わっているもの(浴衣、スリッパ、洗濯機、乾燥機、洗濯洗剤、石鹸、シャンプー、ドライヤー)
 - (5) 研修受講中の服装及び履物は、研修にふさわしい常識的なものを着用してください。
 - (6) 駐車場はありませんので、自家用車等でのご来場はご遠慮ください。

平成30年度研修「舗装技術」時間割

日	時	講義 時間	教 科 目	講 師	
				所 属	氏 名
5/9 (水)	8:30～ 8:50		受 付		
	8:50～ 9:30		開講の挨拶・オリエンテーション		
	9:30～11:30	2.0h	舗装を取り巻く最近の動向	国立研究開発法人 土木研究所 道路技術研究グループ 舗装チーム 総括主任研究員	寺 田 剛
	12:30～13:30	1.0h	道路舗装に関する発注者(道路管理者)の 取り組みについて	国土交通省 関東地方整備局 道路部 道路工事課 課長補佐	松 澤 尚 利
	13:40～15:40	2.0h	舗装の品質試験の方法と性能評価法	一般社団法人 日本道路建設業協会 技術委員会 委員	光 谷 修 平
	15:50～17:20	1.5h	アスファルト舗装の構造設計	一般社団法人 日本道路建設業協会 技術委員会 委員	吉 村 啓 之
5/10 (木)	9:00～11:00	2.0h	コンクリート舗装への期待	一般社団法人 日本道路建設業協会 技術委員会 委員	中 原 大 磯
	11:10～14:00 (昼休み1.0h)	2.0h	環境舗装	一般社団法人 日本道路建設業協会 技術委員会 委員	尾 本 志 展
	14:10～16:00	2.0h	ICT舗装技術	一般社団法人 日本道路建設業協会 技術委員会 委員	三 根 和 人
	16:10～18:00	2.0h	舗装の再生技術	一般社団法人 日本道路建設業協会 技術委員会 委員	加 納 孝 志
5/11 (金)	9:00～10:20	1.5h	舗装点検	一般社団法人 日本道路建設業協会 技術委員会 委員	坂 本 康 文
	10:30～12:00	1.5h	道路舗装におけるマネジメントシステム	一般社団法人 日本道路建設業協会 技術委員会 委員	阿 部 長 門
	13:00～15:00	2.0h	道路舗装の維持・修繕	一般社団法人 日本道路建設業協会 技術委員会 委員	井 原 務
	15:00～15:05		閉 講 式		

※教科目及び講師については変更することがあります。

平成 30 年度研修 「舗装技術」 申込書

一般財団法人 全国建設研修センター

E110

ふりがな				年 令 ・ 性 別
氏 名				満 才 ☐ 男 ☐ 女
最 終 学 歴	☐ 大学院 ☐ 大 学 ☐ 短大 ☐ 高専 ☐ 専門学校	科卒業/修了		
当研修に関する経験年数	年 ヶ月	役 職 名	☐ 事務 ☐ 技術	
勤 務 先	(勤務先名)			
	部 課 Tel			
	E-mail @			
勤 務 先 種 別	☐ 国、地方公共団体 ☐ 独立行政法人等 ☐ 技術センター、財団、社团 ☐ 建設業者 ☐ コンサルタント ☐ その他			
勤 務 先 所 在 地	〒 -			
研 修 経 費 納 入 方 法	研 修 会 費	☐ 振 込 ☐ 持 参	宿 泊 費	☐ 振 込 ☐ 持 参
前日宿泊 (5 月 8 日)	希望する	希望しない	☐ 通 学	

◎ 前日宿泊の希望は、(希望する 希望しない) のいずれかを○で囲んでください。

※ 申込書に記入された氏名、年齢等の個人情報、研修を円滑に実施するためのものです。

申込書の記載事項は、研修の事務連絡及び実施に必要な書類等の作成以外の目的では利用いたしません。

< 舗装技術研修 >

受 講 者 派 遣 機 関 名

〒 - Tel

所 在 地

派 遣 事 務 担 当 者

所 属 ・ 氏 名

< 研 修 場 所 >

一般財団法人 全国建設研修センター

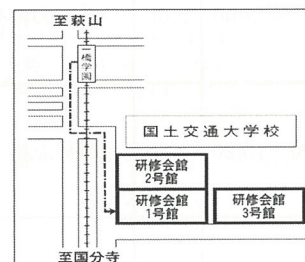
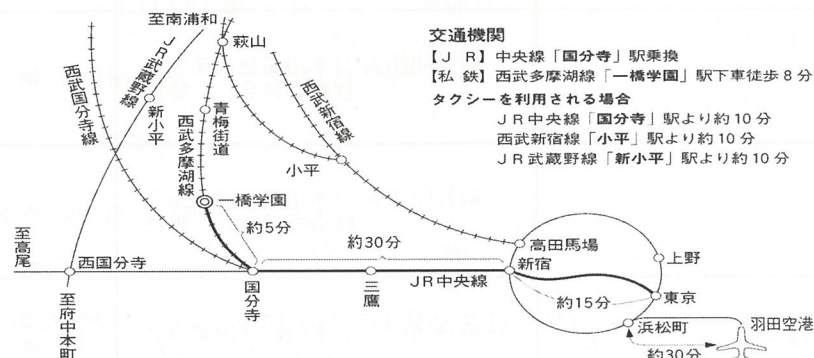
研 修 会 館

※ 1 号館にお越しください。

〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2

TEL 042 (324) 5 3 1 5 (代)

<http://www.jctc.jp/>



【参考】平成 30 年度、当センターが実施いたします道路部門の研修は次のとおりです。

研 修 名	対象者	期間	日数	研修会費(円/人)
舗装技術	一般	5/9(水)	3	69,000
道路整備施策	一般	6/13(水)	3	69,000
交通安全事業(市町村道)	一般	7/3(火)	4	79,000
道路設計演習	一般	7/17(火)	4	75,000
道路構造物設計演習	一般	8/22(水)	3	69,000
道路管理	行政	8/27(月)	5	90,000
市町村道	一般	10/9(火)	4	79,000
道路計画・設計	一般	11/12(月)	5	89,000

※「行政」… 国及び地方公共団体、独立行政法人等の職員を対象とした研修 / 「一般」… 行政、民間の職員を対象とした研修
 研修のしおりはホームページ「受講にあたって」からご覧になれます。

平成 30 年度に実施する研修の実施計画についてはホームページで閲覧できます。ホームページアドレス <http://www.jctc.jp/>